

ブツブツ菌

ヒソヒソは内緒話、ブツブツは愚痴、ペラペラはお喋りです。話し方によって表情も仕草も変わりますが、なかでも一番みじめな顔が浮かんでくるのがブツブツです。

済んでしまったことをいつまでもブツブツ。どうすることもできないことをブツブツ。胸にたまった不平不満をブツブツ。「あいつは愚痴のひとつもいえない腰ぬけだ」とブツブツ。風呂の中の屁のように、ブツブツと口ごもって泣きごとを並べるのが愚痴です。愚痴は胸のつかえをなでおろす妙薬ですから、世界中にブツブツ菌が蔓延しています。

人の話をよく聞いていると、欲と苦情の愚痴がいかにも多いように思います。人の悪口は、会話に弾みがつき、おもしろおかしく発展していきます。

お釈迦さまは、「他人の失敗は見やすいけれども、自分の過失は見難い。実に人はもろもろの失敗を初殻のように吹き散らすけれども、自分の過失は覆い隠す。たとえば、ずる賢い博徒が不利なサイコロの目を隠すように」と、『法句経』のなかで嘆かれています。

このように、他人の話題は、自分の欲を棚にあげておいて、もっぱら他の利益や過失をあげつらうブツブツ談話に花を咲かせることが多いようです。

ブツブツ菌は三毒のうちの一匹です。三毒とは、「貪り」と「怒り」と「愚痴」です。この三毒をひろげれば百八の煩惱になります。三毒は、苦しみや悩みをつくる病原菌です。仏典に、「愚痴とは、無常の真理に目がふさがって、因果の道理に暗いこと」とあります。

ブツブツ菌は、「知恵不足」と「妄想」などによって繁殖するようです。もしも一生を不平と不満で明け暮れするとすれば、こんな不幸な人生はないと思います。ブツブツ菌はきれいに消毒するに限ります。